

### 1. 新役員発表

会 長	内田禎信 (宮崎県)			
副 会 長	鶴木良夫 (新潟県)	坂巻義男 (千葉県)	菊池浩吉 (宮崎県)	
専務理事	仁多見史隆 (新潟県)			
常務理事	中村 司 (群馬県)	池端敬介 (大分県)	小阪則夫 (東京都)	小山田裕二 (東京都)
	鈴木大輔 (東京都)	浅村雅則 (東京都)		
理 事	大政邦弘 (愛媛県)	林田 豊 (香川県)	安川浩樹 (北海道)	後藤知里 (京都府)
	佐藤義裕 (北海道)	仲間達也 (東京都)	山本保義 (広島県)	石橋 勇 (広島県)
	関口 孝 (東京都)	木庭浩一 (熊本県)	高橋雄介 (東京都)	川島弘行 (栃木県)
	関根裕典 (埼玉県)	門田 治 (愛媛県)	相馬博光 (宮城県)	
顧 問	戸田裕典 (弁護士)			
監 事	岩井 翼 (弁護士)	泉 重樹 (東京都)		

### 2. 新会長挨拶

会長になりました内田と申します。宮崎県です。

近畿大学の監督と山根会長の問題だとか、様々なトラブルをうけて山根会長と話をするなかで、こういった現状に至っています。これから先、選手にとってどうあるべきか、どのように公正に公平にできるのかという事を考えて、暫定ですけれども一生懸命やっていきたいと思っておりますので皆さん協力して下さい。宜しくお願い致します。

### 3. 今後の方針確認

どのスポーツ団体よりも透明性を図っていききたい。この中でみなさんに様々な意見を出して頂けたら有難いです。(パワーポイント)

- ①国体の通年開催～評価を高めることが必要。
- ②選抜大会開催～今までは共催申請を日本連盟側が押さなかった。
- ③オリンピックでの競技開催～足踏みをしないように前進を続ける。
- ④選手ファースト～とにかく選手が1番ということで進める。

#### 【日本ボクシング連盟の今後の方向性】

- 透明性～公益社団法人を目指していくなかで財務状況についても都道府県から閲覧ができるようにする。あらゆる場面で透明性を前面に出していきたい。
- 公正性～決議事項等を流して皆様の意見を取り入れた形で進めていく。
- 納得性～透明性と公正性の2つが成り立てば納得いく形で進んでいくと思う。
- 健全な新体制の構築～橋本聖子議員、西村副官房長官にも顧問としてある程度の了解を頂いている。
- 財政改革～企業にも資金の援助をしてもらう予定。
- 定款の変更～弁護士の先生方と協議しながら正しい定款の変更をし、完全履行する。(任期等)
- 意見の場の創出～今まではトップダウンで報告だけで動いていた。
- 不正判定の排除～海外でも日本の審判の技術は非常に高いと評価されている。前会長の時に起こった事は絶対に起こらないように語り継いでいかなければならない。
- 販売体制の見直し～グローブ、ヘッドギア、リングに関しても値段に透明性が無かった。どこのスポーツ店からも購入できることが望ましい。早期に実現を考える。
- 無駄なコストの削減～大会開催側にいままで相当な負担をかけてきた。接待行為の禁止、日本連盟側からの補助金の予算通りの執行。
- アンダージュニア選手の育成～国体評価にも繋がる部分。青少年の育成とガバナンス向上を伴っていかなければ評価が高まらない。
- 都道府県ファースト～都道府県のご意見を頂戴、拝聴しながら進めていきたい。皆様に問いかけていくようなシステムを開発し次のアクションを起こしていく。
- 海外遠征や国際大会におけるコーチやセカンド陣の育成、強化～スリースターの取得。積極的に有望な審判の方々やコーチ陣を派遣できるように進めていく。
- 円滑かつ健全な運営の組織体制を実現するシステム～今までは理事会の中で話し合われての報告であった。今後は日連の方から各都道府県の連盟のみなさんに情報を流して県連の理事が回答をしていく。何パーセントの割合で可決されたものなのかという事が分かるシステムを作っている。早期に完成させていきたい。JOCにも説明しているが是非とも進めてほしいと言われている。
- ホームページのフルリニューアル～ネット上の議決に関してなどホームページからいろいろな事を都道府県に発信していけるように、また意見も取り入れられるようにシステムを進化していく予定。

#### 4. その他

・A I B A会長選について

梅下氏：

11月2、3日の会長選挙に暫定会長のウズベキスタンのガフルさん、カザフスタンのコナクバエフさんが立候補している。この両国と日本は親密な関係でお世話になっているが現在のウズベキスタンの会長をヨーロッパ、パキスタン、インド、ルーマニアあたりは推薦している。因みにガフルさんは世界7人のマフィアということでシドニーオリンピックには入国を拒否されている。(私の個人的な意見としては白旗(棄権)です) I O Cのバッハ会長はガフルさんに関しては遺憾であると仰っている。カザフスタンの方はクリーンである。

・除名の解除、プロとの交流、大阪事務所の閉鎖について

仁多見氏：

除名に関して今まで正当な手続きをとらずに除名になった方々が多数いる。この方々は各都道府県連から再審査請求という形で手続きを行ってほしい。高体連の佐藤氏、北岡氏の処分には重大な瑕疵があったため再審査の手続きを行わずに解除の通知を送りたい。

プロとの交流はアンダージュニアの選手がプロ主催のスパリング大会や試合にでたら資格を失うということは競技の衰退につながるという事から失くしていきたい。またプロとの交流は歴史や伝統を守ったうえで垣根を取っ払っていく。

大阪事務局については山根前会長が退かれたことと近いうちに岸記念体育館が閉館となり神宮外苑に広い部屋を確保することができることなどから閉鎖することはやむを得ない。ただし新しいテナントが入らなければ6か月先まで契約が続いているので今後報告していきたい。以上、吉森氏からあずかった内容。

#### 5. 質疑

樋山氏：(意見)

アンダージュニアの出場権の枠が7年ほど前に登録人数で割り振られています。新しい理事で見直していただきたい。女子の国体の階級についてももういちど考えてほしい。

東京都吉沼氏：(質問)

財政状況を教えていただきたい。

内田氏：(回答)

第三者委員会の調査が終わって通帳等がすべて返ってくれば分かると思います。吉森さんからは年内はクリアできるという報告は受けております。

本氏：(説明)

ガフル氏はマフィアの親分でガフルを支持して勝った場合は日本連盟に対して影響はないもののオリンピックの開催は危ぶまれます。ガフルを支持して負けた場合は反社を支持したためコンプライアンスの問題を指摘されると思います。カザフのコナクバエフが勝てばオリンピックの危機がなくなります。カザフスタンとの関係も良好になります。ただコナクバエフを支持して負けた場合はウズベキスタンとの関係が悪くなります。

徳島県須見氏：(質問)

新しい日本連盟と再興する会との今後の関係はどのようになるのか。

内田氏：(回答)

再興する会は今日ですべてなくします。ホームページもなくします。

大阪府倉本氏：(質問、意見)

第三者委員会の結果はどのようにお知らせしてもらえるのか。山根会長になってから役員登録費が5千円アップしているが大阪事務所の経費ではないかという話も聞いたことがあるので1万円に戻して頂きたい。公認コーチの件ですが他競技では専門科目がないという噂をきいたのですが。

内田氏：(回答)

第三者委員会の件については定かではありません。

樋山氏：(補足)

公認コーチの件はその噂は間違いです。どの競技も専門科目があります。

梅下氏：(お知らせ)

ブルガリアで行われる2スターのR/J試験が10月10日～16日に開催されます。ぜひ参加のご検討をお願いします。併せて国際審判は連盟の組織に入れられないという規定がありますのでそこもご注意いただいでご検討下さい。

樋山氏：(補足)

JOCから審判の要請には補助金がでます。コーチについてもお願いをしています。

荒木氏：(要望)

セカンド制度を考えてほしい。お金も時間もかかる。ちゃんと教えている人がセカンドをできるように制度の見直しをすることは選手のためににも必要なことだと思いますので宜しくお願いします。

内田氏：(回答)

検討します。